

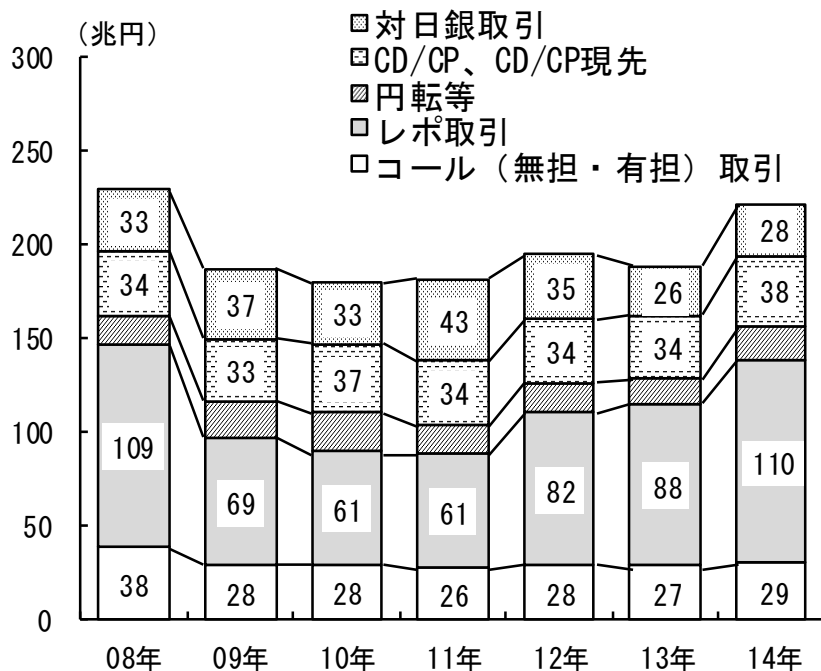
国債決済期間短縮化とレポ市場

2015年5月14日 日本銀行金融市場局 福田 格

国債決済期間短縮化とレポ市場（1） 取引活性化に向けた基盤整備

短期金融市場の取引状況（概況）

短期金融市場の取引残高
 <資金調達サイド>

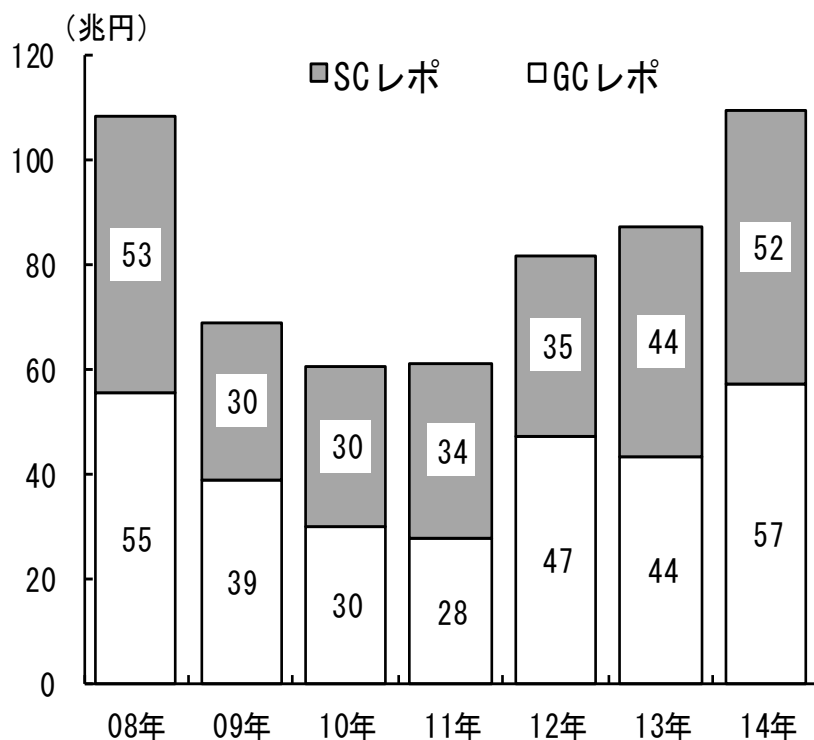


▶ レポ取引は短期金融市場における最大のセグメント

(注)コール取引のうち、無担保コールは、短資会社経由の取引およびグループ外DD取引の合計。なお、短資会社経由の取引データは、日本銀行「コール市場残高」ベース（以下同じ）。対日銀取引とは、共通担保オペ、国債買現先オペ、CP買現先オペ、被災地金融機関を支援するための資金供給オペ、成長基盤強化支援資金供給、貸出増加支援資金供給、および補完貸付を指す。

GCレポとSCレポ

レポ市場の取引残高
<資金調達サイド>



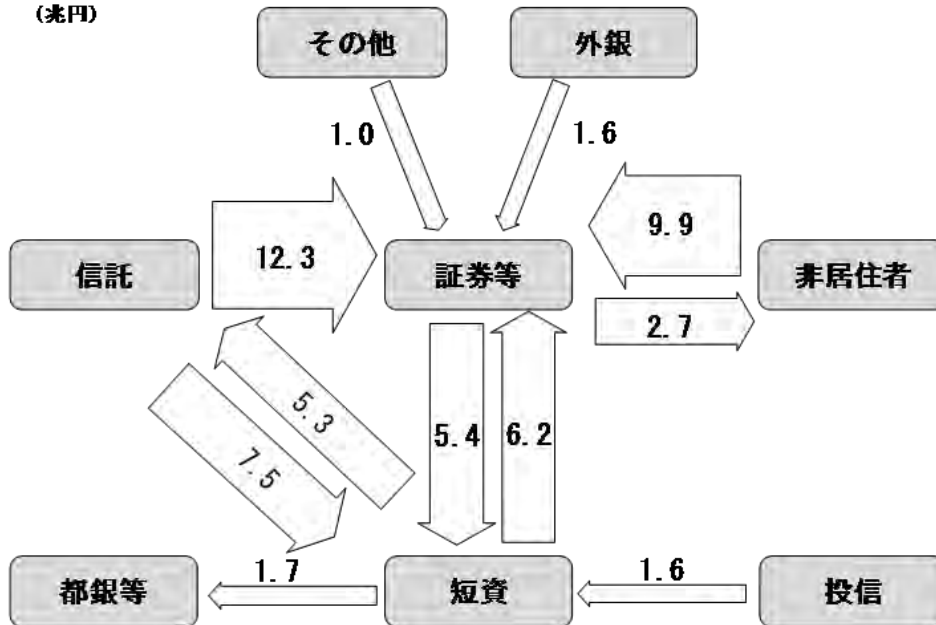
- ▶ レポ取引残高は、リーマン・ショック前を上回る水準まで増加。
- ▶ GCレポとSCレポの取引残高の増減傾向はほぼ一致

レポ市場のグローバル化

業態間取引残高
<GCLレポ>

▶ レポ市場における非居住者のプレゼンスは近年拡大

(兆円)

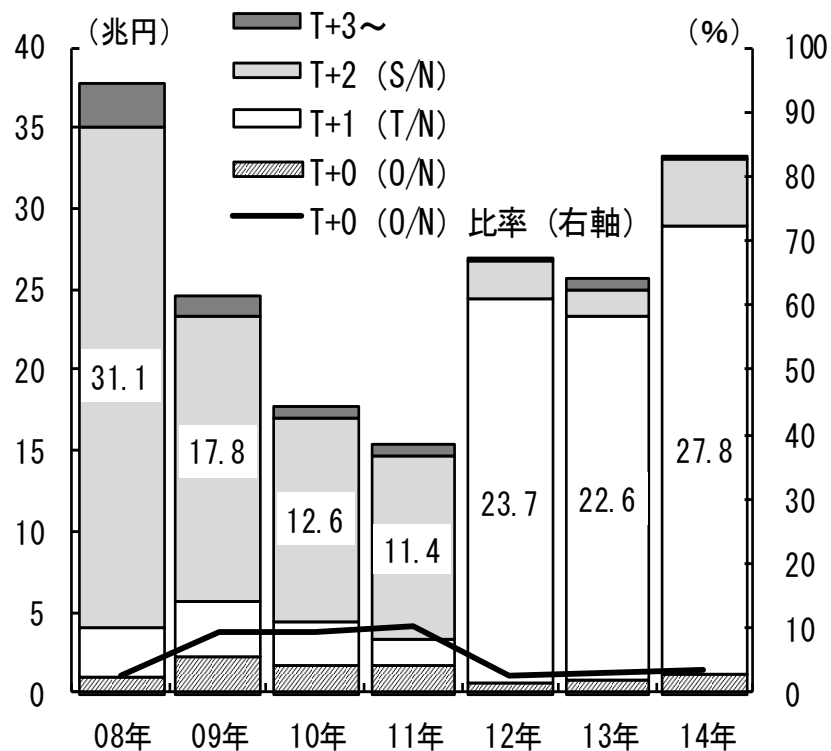


(注)14/7月末時点。矢印は資金の流れを示す。

国債決済期間短縮化とレポ市場（2） 即日の資金取引市場の創設

GCLレポ取引の状況（翌日物）

GCLレポ取引の約定日別残高 - 翌日物
 <資金調達サイド>

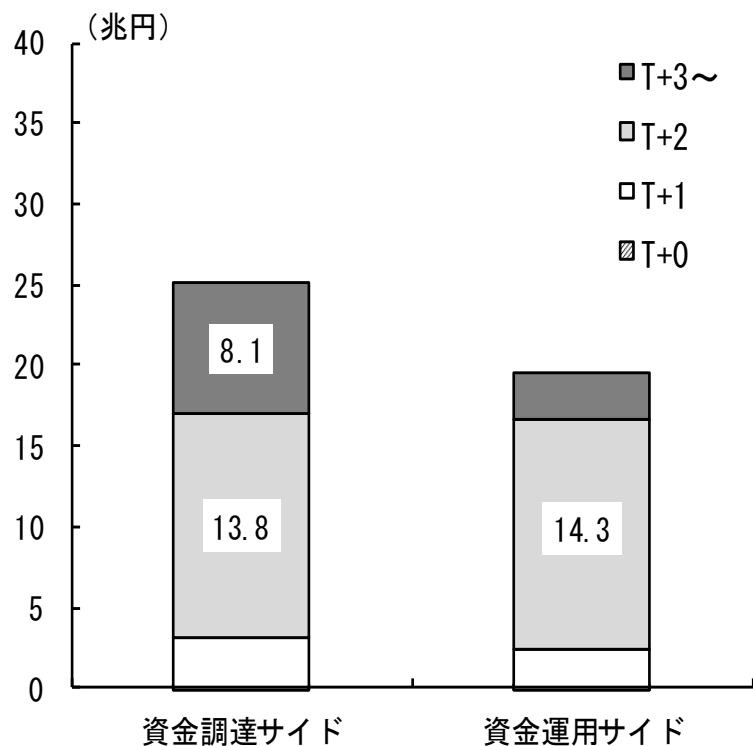


- ▶ GCLレポ(翌日物)取引は、国債決済期間短縮化(アウトライトT+2化)に伴い、T+1にシフト
- ▶ T+1の翌日物取引の残高は約28兆円

GCLレポ取引の状況（ターム物）

GCLレポ取引の約定日別残高 - ターム物

- ▶ ターム物は、T+2以上が中心

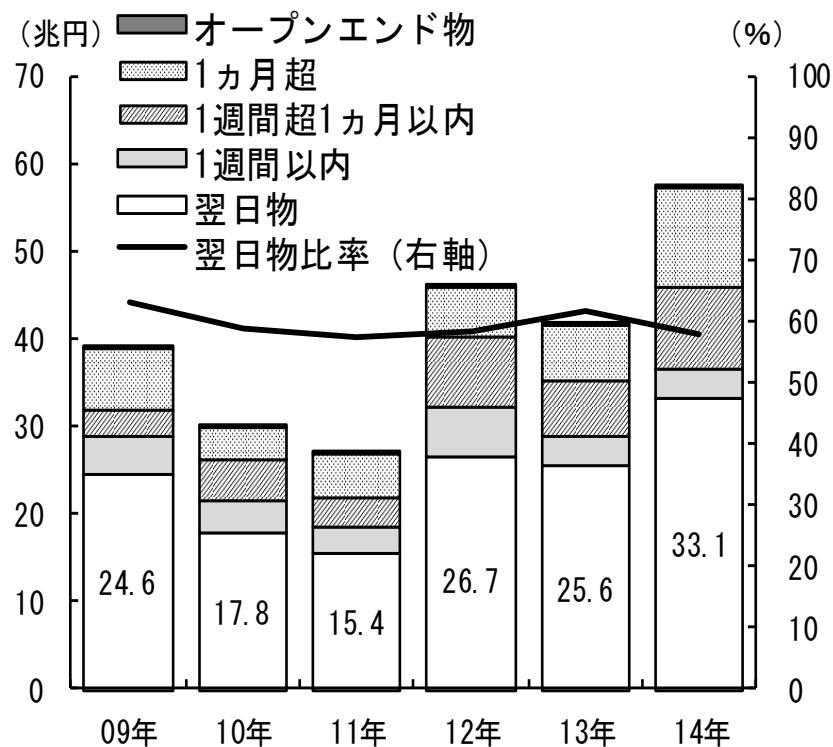


(注) 14/7月末時点

国債決済期間短縮化とレポ市場（3） ターム物取引の活性化

GCレポ取引の状況

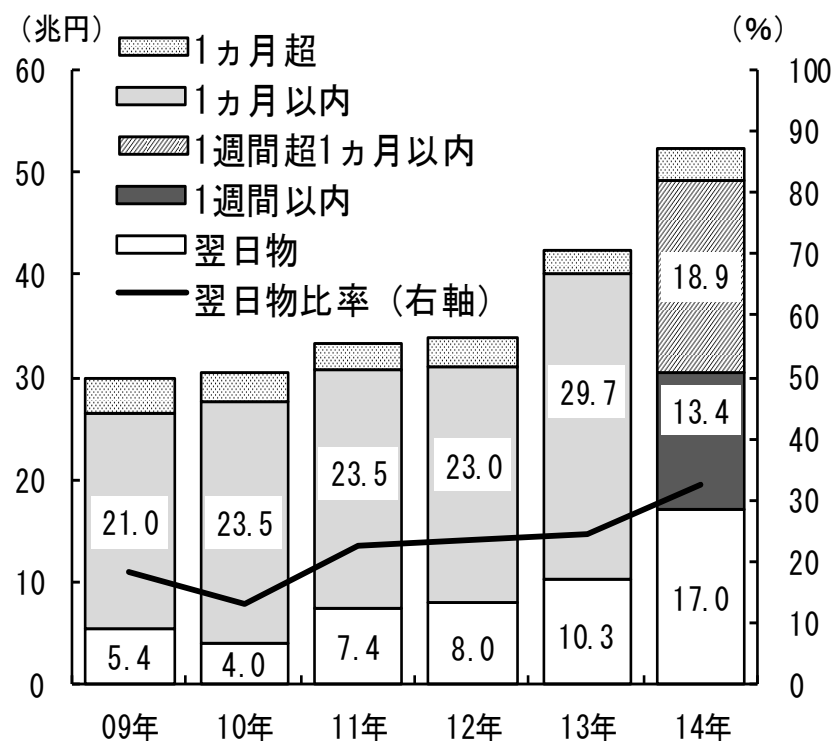
GCレポ取引のターム別残高
 <資金調達サイド>



- ▶ GCレポによる資金調達は、6割程度が翌日物
- ▶ ターム物の比率も、比較的高い

(参考) SC取引の状況

SCLレポ取引のターム別残高
 <資金調達(債券運用)サイド>



(注)14年8月の東京短期金融市場サーベイより、調査項目「1ヶ月以内」を「1週間以内」と「1週間超1ヶ月以内」に細分化。

- ▶ SCLレポは7割程度がターム物取引(GCLレポ取引よりターム物取引の比率が高い)

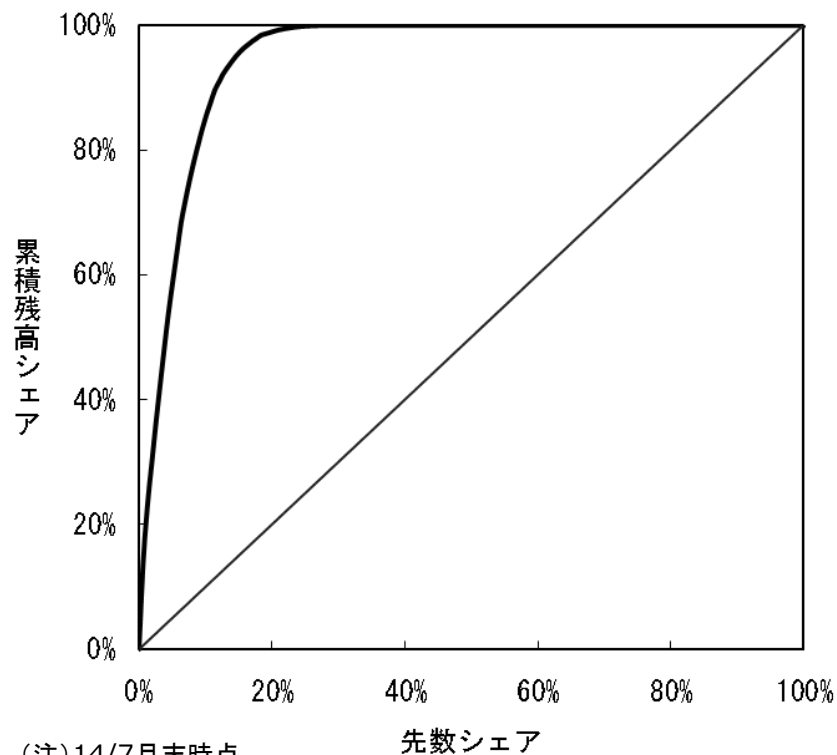
国債決済期間短縮化とレポ市場（４） 有担保市場の関係性

有担保市場の関係性（取引の比較）

	GCLレポ	有担保コール
担保評価基準	時価ベース (大半がヘアカット無し)	額面ベース (増し担保率を適用)
決済	T+1~2が中心	T+0が中心
市場規模 (2014/7月末)	57兆円	14兆円
決済方法	DVP	非DVPあり

有担保市場の関係性（取引集中度）

GCLポ市場の取引集中度
〈資金調達サイド〉



(注) 14/7月末時点

有担保コール市場の取引集中度
〈資金調達サイド〉

